

第 87 回 発生のしくみ 2

■調節卵とモザイク卵について、例を挙げて概説せよ。

- ・ 調節卵：ウニ、イモリ、ヒトなど。2細胞期や4細胞期に、胚の一部を失っても正常な個体が発生する
- ・ モザイク卵：クシクラゲなど。正常では8本のくし板を持つが、2細胞期に割球を分離すると4本のくし板、4細胞期に分離すると2本のくし板を持つ個体が発生する
- ・ 両者の違いは、いつまでの調節能を持つかという時間的な差でしかない

■カエルの体軸の決定のしくみについて概説せよ。

- ・ 動物のからだには、前後軸、背腹軸、左右軸がある
- ・ 受精卵の「表層回転」
- ・ 灰色三日月環の形成
- ・ 精子が侵入した側が腹側、灰色三日月側が背側